TKK3 大学連携プロジェクト「防災・減災・ボランティアを中心とした社会貢献教育の展開」

TKK 共通シラバス

1. 科目名	地域の安全				
2. 教員名	村上正浩、藤賀雅人		3. 担当大学	工学院大学	
4. 対象学年	3 年	5. 開講時期	前期	6. 単位数	2 単位

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の内容（基本的枠組）（東）※必須

【授業のねらい】
過去の災害教訓を理解したうえで、耐震・耐火・耐水など被害を低減させるハード的な対策とともに、仮に被害が生じても自助・共助・公助により柔軟に対応できるソフト的な対策を学びます。さらに防災における SDGs や DX などについても学び、都市・地域の安全・安心のまちづくりに必要な知識を身に付けます。

【達成目標】
・自然災害や都市大火など過去の災害とその教訓を説明することができる。
・防火・防災に関わる様々な法制度を説明することができる。
・多様な空間スケールに応じた防災・防火・防犯対策を説明できる。

8. 授業のキーワード（神）

防犯環境設計、自然災害、都市防災対策、防災まちづくり、地域防災力

9. 授業の進め方（神）※必須

・授業は講義形式で行う。各回の授業までに講義資料や教科書の該当箇所を事前に読んでおき、理解しておくこと。
・授業の内容に加え、講義した内容についてコメントを求めることで、講義内容を理解しているか確認する時間を毎回の授業に設ける。
・各回授業後のコメントカード、地域の安全に関するレポート課題、最終の試験をあわせて、学習成果を評価する。

10. テキスト、参考書、指定図書（神）

〇テキスト
日本建築学会編：「逃げないですむ建物とまちをつくる―大都市を襲う地震等の自然災害とその対策―」、技報堂出版株式会社
〇参考書
・梶秀樹・塚越功（編著）：「改訂版　都市防災学　地震対策の理論と実践」、学芸出版社
・長谷川万由美・近藤伸也・飯塚明子 （著, 編集), 石井大一朗・土崎雄祐・柴田貴史 （著）「はじめての地域防災マネジメント」、北樹出版
・木村 駿・真鍋 政彦・荒川 尚美（著）：「私たちはいつまで危険な場所に住み続けるのか 自然災害が突き付けるニッポンの超難問」、日経 BP
・木村玲欧（著）：「災害・防災の心理学―教訓を未来につなぐ防災教育の最前線」、北樹出版
・津久井進（著）：「災害ケースマネジメントガイドブック」、合同出版
・太田敏一、松野泉挙（共著）：「防災リテラシー第 2 版」、森北出版株式会社
・近藤民代：「米国の巨大水害と住宅復興　ハリケーン・カトリーナ後の政策と実践」、日本経済評論社
・北原糸子：「震災復興はどう引き継がれたか」、藤原書店、など
その他授業中に適宜紹介する

11. 授業時間外に必要な学修（神）事前、事後に受講してほしい講義等（東）

【事前に受講してほしい講義等】
社会貢献学入門、建築・都市の安全、地震・複合災害工学
【事後に受講してほしい講義等】
建築の安全、災害復興論

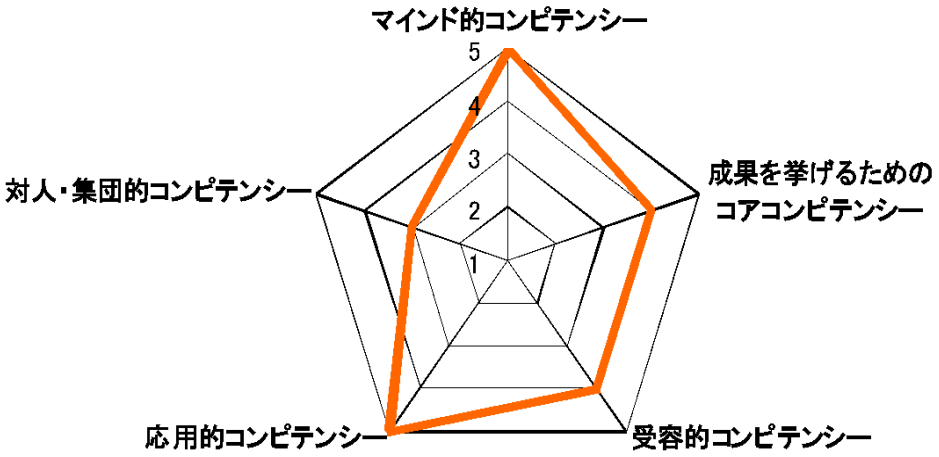
12. 提出課題など（神）
各回授業後のコメントカード、地域の安全に関するレポート課題
13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（エ）、評価の方法（東）※必須
授業内実施のコメントカードで平常点を算出すると共に、試験期間に授業内容すべてを範囲とする学期末筆記試験を 15 回目に実施、さらに課題レポートの提出を求める。平常点、学期末筆記試験、レポートは 1：6：3 で評価し、合計が 60 点以上を合格とする。
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（エ）、受講生への要望（東）
15. 参考（ホームページ（神）、オフィスアワー（エ）等）

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（エ）】

講義番号	主題	内容
第１回	ガイダンス	講義の進め方とレポート課題の内容・評価基準について説明する。
第２回	木造密集市街地の防災まちづくり(1)	防災まちづくりの変遷と木造密集市街地の位置付け
第３回	木造密集市街地の防災まちづくり(2)	木造密集市街地の安全性評価とプランニング
第４回	木造密集市街地の防災まちづくり(3)	木造密集市街地におけるまちづくりの実践
第５回	防犯環境設計(1)	日本の犯罪情勢、防犯環境設計の考え方を理解する。
第６回	防犯環境設計(2)	欧米と日本の防犯環境設計の事例について学ぶ。
第７回	まちが抱える課題	過去の災害教訓をもとに様々な防災上の課題について学ぶ。
第８回	防災まちづくりの考え方と進め方（1）	都市レベルの防災まちづくりの考え方と進め方を理解する。
第９回	防災まちづくりの考え方と進め方（2）	地区レベルの防災まちづくりの考え方と進め方を理解する。
第 10 回	地域共助による防災まちづくり（1）	地域防災の担い手の現状と課題、自主防災活動と地区防災計画の考え方などを理解する。
第 11 回	地域共助による防災まちづくり（2）	地域防災の担い手育成のための様々な防災訓練・防災教育などの実践事例について学ぶ。
第 12 回	都市防災対策と事業・制度(1)	江戸時代以降の我が国の都市防災対策について理解する。 都市防災対策を実現するうえでの様々な事業・制度を理解する（市街地大火）。
第 13 回	都市防災対策と事業・制度(2)	都市防災対策を実現するうえでの様々な事業・制度を理解する（高潮、豪雨災害）。
第 14 回	都市防災対策と事業・制度(3)	都市防災対策を実現するうえでの様々な事業・制度を理解する（地震、都市災害）。
第 15 回	学期末筆記試験	学修到達度を確認する。

【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。



コメント
本講義では、特に「マインド的コンピテンシー」と「応用的コンピテンシー」の向上を目指す。防災意識や情報活用力、課題形成力の向上に力を入れる。